

一般質問

一般質問は、質問のみで1人40分。質問回数は制限なしとしています。

※反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

荘川さくら学園の特色ある教育 課程及び制度の運用について

新政たかやま

平戸 芳文



問 来年度から始まる特認校制度は、学区外からの就学を認めるという画期的な仕組みだが、その準備状況はどのようなか。さらに、この制度を契機として、移住・定住へつなげるために、地域と連携した取組みをどのように進めていくのか。

答 荘川さくら学園を広く知ってもらえるよう、児童生徒や保護者を対象とした、オープンスクールを10月と11月に2回実施し、施設のみならず授業も公開する予定。高山市内をはじめ、県内外へも周知することを計画している。地域と連携し、更なる魅力づくりに努めていく。

増加する民泊に対して の市の考え方について

新政たかやま

水野 千恵子



問 民泊・ゲストハウスがいつの間にか近所にオープンしていることに、地域から不安の声が多く聞かれる。ゴミや騒音問題等のトラブルが起きた際には、すぐ対処できる管理者が常駐することが求められる。良質な民泊提供のために、ガイドラインを見直すことはできないか。

答 現在、市内の民泊は36軒。ここ数年で急に増えた状況。平成30年に作成した「高山市民泊ガイド」の作成時から状況が変わってきており、現在の状況に合った内容への見直しが必要と考えている。早急に関係機関と連携し取り組む。



NPO法人高山おもちゃ病院への市の支援について

新政たかやま

西田 稔



問 市は循環型社会形成に向け3Rを推進するというが、高山おもちゃ病院が活動拠点にしている資源リサイクルセンターの敷地内で、今後も作業が継続できるよう支援できないか。

答 おもちゃ病院の作業場所については、当面、現在の場所で行っていただけるが、不用品リフォームセンター等の資源化施設は老朽化が進んでいるため、資源リサイクルセンター全体の整備計画の中で、作業ができる場所についても検討していく。



農業について

新政たかやま

榎 隆 司



問 農業従事者が減少するなか、農作業を行う人材確保が必要ではないか。

答 人手不足の状況下において、国や県の支援要件を外れても農業従事を希望される方が農業に関わっていただける方法について研究していく。

問 効率的な営農をしていくために圃場整備が必要ではないか。

答 圃場整備は農地の形状を変更させる事業であることから、地域全体の合意形成が必要である。地域一体となった圃場整備の意向があれば、県と協議を進めて行く。

